

何て言うのかな (I ' m sorry)

(1) ねらい

コ自分が間違っしてしてしまったときに英語で話そうとすることができる。

英具体的場面や行きはないない帰りはあるあるゲームを通して謝る時の英語になれる。

(2) 言語材料 「 I ' m sorry. 」 「 please. 」 「 Thank you. 」

(3) 展開

過 程	活 動			備 考
	児 童	H R T	A L T	
はじめのあいさつ (2分)	1 はじめのあいさつをする Hello,Mr. ~ I ' m happy And you ?	Hello.Mr. (ALT) ・児童と一緒に挨拶をする。	Mr. (担任) .Hello,everyone. How are you ? I ' m fine,too, thank you.	
ウォーミングアップ (5分)	2 英語の歌もしくは復習	・児童と一緒に体を動かしたり歌う。	英語の歌 ・英語で命令をだす。	CD
本時への導入 (8分)	3 HLT と ALT のやりとりを聞きながら一緒に言う。	(歩きながらぶつかってしまう場面)	I ' m sorry.	
アクティビティ 1 (6分)	4 いくつかの場面のジェスチャーを基に、みんなで言う。	・代表に出させてやっても良い	I ' m sorry.	
アクティビティ 2 (18分)	5 行きはないない帰りはあるあるゲームをする。	・ルールを理解していないグループへの支援をする。 ・前回の復習も確認する。	・英語でしっかり言えているかチェックする。 「 please 」 「 Thank you 」	
まとめ・ふりかえり (3分)	6 今日のキーワードをもう一度全体で言う。	・児童と一緒に答える。	・活動の中から典型的な物を例に復習をする。	
終わりのあいさつ (2分)	7 終わりのあいさつをする。 Good bye,Mr(ALT) See you.	・子どもたちの授業の様子を評価して時次の意欲につなげる。 ・児童と一緒に言う。	Everybody,good bye.	

いくつかの場面のジェスチャーによる言い方

1 二つの場面

山田さんから小林さんへの電話で、間違っって佐藤さんにかけてしまった場面

山田：電話をプッシュする。。

佐藤：受話器を取って「Hello」

山田：「Hello. Are you Kobayashi ?」

佐藤：No. I am Sato

山田：I ' m sorry.

(用意する物：電話)

Aさんが消しゴムを忘れ、Bさんに借りようとしているが、Bさんもない場面

A：書き物をしている様子から、「mistake.」と言って消そうとするが、消しゴムがないのでBさんに向いて尋ねる。

A：「Do you have a rubber ?」

B：「I ' m sorry.」と言って手を横に振る。

2 活動の進め方

A・Bの役をHRTとALTでそれぞれ行う。

1回目はやりとりの中での言い方を聞き、2回目はみんなで言う。

行きはないない帰りはあるあるゲーム

1 準備する物

消しゴム(グループ分)

2 活動の進め方

いくつかのグループに分かれ、一列に間隔をとりながら立って並ぶ。

グループの先頭が後ろを向いて「Do you have a rubber ?」と言って手を差し出す。

後ろの人は「I ' m sorry」と言って、手を横に振る。

二番目の人は、更に後ろの人に「Do you have a rubber ?」と言って手を差し出す。

三番目以降もこれを繰り返す、最後の人までいく。

最後まで行ったら、「Yes. please」と言って差し出す。逆の順序で受け渡しをしながら「please」「Thank you」を言っていく。

先頭に戻ってきて、先頭の人が「Thank you」を言ったらグループ全員が座る。

3 その他

グループ毎の競争でもいいが、「please」「Thank you」をしっかり言うようにする。

一人が受け取ったときの「please」と、渡すときの「Thank you」はしっかり区別し、体の向きを変えること。